

**令和5年度第2回 阪神西部（武庫川流域圏）
地域総合治水推進協議会
議 事 概 要**

- 日時：令和6年3月25日(月) 15:30～17:00
- 場所：尼崎市中小企業センター 1F多目的ホール
- 出席者：協議会委員 24名（内Web出席者1名）

■議事

1. 地域総合治水推進計画の改定について
2. 各機関の主要な取組について
3. フォローアップについて

■配布資料

- ・議事次第、出席者名簿、配置図
- ・資料1-1 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進計画の改定概要
- ・資料1-2 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進計画（本編・案）
- ・資料1-3 阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水新計画（資料編・案）
- ・資料2 各機関の主要な取組について
- ・資料3 地域総合治水推進計画のフォローアップ
- ・参考資料1 地域総合治水推進協議会 設置要綱及び公開要領
- ・参考資料2 令和5年度第1回阪神西部（武庫川流域圏）・阪神東部（猪名川流域圏）地域総合治水推進協議会 議事概要

■意見交換

米原委員

- ・雨水貯留タンクの普及率が人口の割合に対して少ない。普及のためのPR方法を工夫して欲しい。
- ・「ためる」ということについて、武庫川流域は都市化されているため、貯水容量が大きい田んぼがほとんどない。公園や学校を使用した貯水が行われており、西宮市では地下放水路を整備し、一時貯留を実施しているが普及率が少ない。
- ・下水道は合流式が多い。雨水と下水を区分した下水道の方が下水処理場の能力も満杯にならないため、分流式の普及は大事である。
- ・森林の保水機能は非常に大きい。国の対策として日本の森林のスギやヒノキを利用することで、森林の保全ひいては洪水対策になるのではないか。

大石会長

非常に重要な4つのご意見をいただいた。1つは雨水タンクの普及が割合で見るとまだまだであり、促進策が必要であると伺った。2つ目は、阪神間の下流部では田んぼがなく、地下貯留管や地下貯留槽などの促進をすべきであるというご意見を承った。3つ

目は、雨水と下水の分流について承った。4つ目は、山地や森林の保水機能を充実させるための対策として、国内産林の材木の利用という観点のご提案をいただいた。まず、県の方から回答をお願いしたい。

事務局

雨水貯留タンクの整備率を上げることは、総合治水の進めるべき道の1つである。引き続き、市と協力して推進していきたい。

2つ目は下流部において、一層のための機能、貯留機能を増強する必要があるというご指摘であり、県をはじめ市の方でも地下を利用した貯水機能を随時整備しているところである。まだ、十分とは言えないが、引き続き、整備を推進していきたい。

3つ目は合流式の下水道がかなり残っており、分流式の方が、雨水と汚水を分けるため、もっと安全になるだろうというお話だったと思う。下水道事業は予算、期間を要するため、市と調整して進めていきたい。

4つ目は森林の保全是当然として、国内産の材木を普及することも一緒に実施すればどうかというご意見だったと思う。関係部局にこのような意見があったことを報告させていただく。

大石会長

尼崎市の雨水タンクの普及は、ポイント還元等によって数の面では飛躍的に増やしておられるため、このような施策を参考にして、各市で雨水貯留施設の普及についてご検討いただければと思う。

山林の保水については、兵庫県の取組で森林の整備及び保全に関する項目があり、現在第4期の令和3年度から7年度の期間となっており、6つの森林整備を進めているということである。今のご意見を参考にして、令和7年度以降の計画についてもご検討いただけるようお願いしたい。

坂上委員

- ・西宮市の浸透枿は、土質調査を実施して整備を進めているのか。それとも調査はせずに500㎡以上は必ず整備するという事なのか。泥質の地層であれば、地震のときに液状化現象が発生し、地面の割れ目から水が湧き出る状態になるのではと思う。
- ・兵庫県の堤防強化について、侵食対策を実施しているということであるが、直線部分とカーブの部分の工法は同じなのか。カーブのところは、より強化されているのか。

西宮市

貯留浸透枿等の設置については、地下水位と地質を考慮している。西宮市では南部の海岸地域の地層が砂層であるため、このような浸透枿が有効な地域で設置していただくようお願いしている。

事務局

堤防強化、侵食対策については、直線区間と曲線区間という区分けはしていない。
しかし、曲線区間は曲線の外側の方がせき上げて水位が高くなる現象があるため、その高さを考慮して、護岸工を設置している。

宇津委員

- ・道場の出張所から小学校の間の有馬川の浚渫を県に実施していただき、お礼申し上げます。ただ、浚渫箇所の上下流には同じような雑木等があるため、順次計画していただき、ポイント的に浚渫していただくとありがたい。
- ・武庫川は延長が約 66km あるため、計画的に進めていただき、進捗状況をこのような会議のときに説明していただきたい。
- ・「ためる」ことは非常に大事である。神戸市の家庭用貯水タンクのパンフレットを以前に見たことがあるが、その後あまり大きく PR されていない。補助金や上限額を設定するのであれば、もっとPRをすべきではないか。
- ・学校の下に貯水タンクを整備することは非常に大事である。道場町は、道場小学校が一番低い位置にあり、その下に大きな貯水池をつくれば、自然と水がたまるのではないか。
- ・東京の神田川の環七のような規模の大きいものではなく、各小学校に貯留容量 1 千³程度のもをつくれば、水の流れを制御できるのではと思う。
- ・道場町では太陽光の大型発電設備の整備により山が裸になっている。工事も 1 年以上遅れており、兵庫県、神戸市から早く進めるように働きかけて欲しい。

事務局

浚渫は各河川の上下流バランスや安全性を考慮して実施している。有馬川についても、随時現場を見ながら対応する。そのようなご意見があったということに関係部署に報告させていただく。

大型の太陽光発電の開発については、今日のお話を聞き、まず確認をさせていただきたいと思う。

神戸市

雨水貯留タンクについては、以前に下水道部局で、東灘、灘あたりの低地盤地区で助成をしたことがある。ただ、非常に申請数が低迷し、現時点では取りやめている。

道場小学校の貯留施設については、これから調査させていただく。

宇津委員

- ・太陽光発電の話は、神戸県民センターに進捗状況が提示されると聞いている。
- ・各家庭用タンクは非常に良いことであり、もっと推進していただければうれしい。

横田委員

- ・雨水貯留は都市部においては土地に限られるため、整備することは困難であると思う。都市部では道路に浸透舗装を整備していただいているが、絶対数が少ないように思う。報告書を見てもよくわからないため、各自治体で何か進められているのかどうか確認したい。

大石会長

都市部における貯水の問題点及び透水性舗装の割合についてのご意見である。

透水性舗装については、西宮市の資料に一部記載があるが、他の市では記載はないようであるため、追加で記載していただくといった対応にさせていただきたい。

大石会長

フォローアップ及び計画見直しに関する事務については、事務局に一任したい。よろしいでしょうか。

本日の議論をもって地域総合治水推進計画についてはご承認いただき、私のほうで事務局と練り上げていくという形にさせていただく。

以上

令和5年度 第2回 阪神西部（武庫川流域圏）

地域総合治水推進協議会 出席者名簿

(順不同、敬称略)

区分	氏名	所属等	出欠席	代理人氏名	代理人所属等
◎学識経験者	オオイン サトル 大石 哲	神戸大学工学部教授	出席		
国	サエキ リョウスケ 佐伯 亮介	神戸地方気象台長	欠席		
県	オオクボ カズヨ 大久保 和代	神戸県民センター長	欠席	カワミ ケンスケ 河澄 健輔	神戸土木事務所 所長補佐
	キムラ アキコ 木村 晶子	阪神南県民センター長	出席		
	ミヤグチ ヨシノ 宮口 美範	阪神北県民局長	出席		
	ウエタ ヒロツグ 上田 祐嗣	丹波県民局長	欠席	カモガワ ヨシノ 鴨川 義宣	丹波土木事務所長
流域圏市町	ヒサモト キソウ 久元 喜造	神戸市長	欠席	セガワ ノブヤス 瀬川 典康	建設局部長(防災担当)
	マツモト シン 松本 眞	尼崎市長	欠席	フクダ ダイキ 福田 大樹	都市整備局土木部河港課長
	イシイ トシロウ 石井 登志郎	西宮市長	欠席	ハラ フユキ 原 伸征	土木局道路部水路治水課長
	タカシマ リョウスケ 高島 峻輔	芦屋市長	欠席	アダチ サトル 足立 寛	都市政策部参事
	フジワラ ヤスユキ 藤原 保幸	伊丹市長	欠席	タケダ コウジ 武田 好二	市長付参事(危機管理担当)
	ヤマサキ ハルエ 山崎 晴恵	宝塚市長	欠席	エザキ コウジ 江崎 康治	都市安全部生活安全室長
	タムラ カンヤ 田村 克也	三田市長	欠席	ホリ ヨシカズ 堀 善和	道路河川課長
	サカイ タカアキ 酒井 隆明	丹波篠山市長	欠席	コバヤシ カツミ 小林 克巳	まちづくり部地域整備課長
	県民	ウツ ヒサトシ 宇津 尚俊	神戸市北区道場町防災福祉コミュニティ会長	出席	
ヨコタ トシハル 横田 敏治		社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会理事 (大庄支部長)	出席		
ヨネハラ マサズミ 米原 正純		鳴尾東コミュニティ協議会 会長	出席		
アマイ ユウイチ 天井 裕一		芦屋市自治会連合会長	出席		
サカウケ イチ 坂上 啓一		伊丹市北村地区自治会長/ 伊丹市緑丘小学校地区自治協議会副会長	出席		
オノ タホ 岡野 多穂		宝塚市自治会連合会 会長	出席		
アリタ カズヒサ 有田 和久		三田市区・自治会連合会 理事(西区区長)	出席		
サカイ カズマサ 酒井 和正		丹波篠山市古市地区自治会長 副会長	出席		
関係団体	フジモト タカシ 藤本 隆司	兵庫六甲農業協同組合(JA兵庫六甲) 常務理事	欠席	ヨシダ アキト 吉田 顕人	三田営農総合センター マネージャー
	カノウ テツオ 加藤 哲夫	丹波篠山市森林組合代表理事組合長	出席		
	カスヤ マサシ 糟谷 昌俊	NPO法人ひょうご地域防災サポート隊 理事長	出席		

◎：協議会会長

議事録確定署名人

会長：神戸大学 教授

大石 哲

NPO 法人ひょうご地域防災サポート隊理事長

糟谷 昌俊